

Coffee Market Report

April 2023



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

2023年4月のICO複合指標価格は、コーヒー輸出量の減少によって178.57セントに上昇した。

- ICO複合指標価格(I-CIP)は2023年3月から4月にかけて5.0%上昇し、4月の月次平均価格は178.57セント（USセント/ポンド、以下同様）、中央値は179.51セントだった。
- 全てのコーヒーグループの指標価格が上昇し、中でもロブスタは8.7%上昇し115.70セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は84.3%拡大して5.30セントまで回復した。
- ロンドンとニューヨークの先物市場の間で測定されたアービトラージは4月に2.9%拡大して81.88セントだった。
- I-CIPのボラティリティは安定的に推移した。3月から4月にかけて0.6ポイント上昇して8.7%だった。
- 4月のニューヨークのアラビカ認証在庫は前月から7.9%減少し74万袋、一方、ロンドンのロブスタ認証在庫は3.1%増加し131万袋だった。
- 2023年3月の世界の生豆輸出量は1,090万袋で、前年3月の1,206万袋に対して9.6%減少した。背景には、気候要因、社会政治的理由、複数の地域や生産国での季節性要因がある。
- 3月のアザーマイルドの輸出量は前年同時期の255万袋から17.1%減少し211万袋だった。
- ブラジルナチュラルは13.5%減少し308万袋だった。
- コロンビアマイルドは17.4%減少し96万袋だった。
- ロブスタは0.8%減少し474万袋だった。2022年3月は478万袋だった。
- 2023年3月の南アメリカ地域からの輸出量（全形態合計）は前年同時期に対して17.3%減少し413万袋だった。
- アジア・オセアニア地域は0.2%増加し503万袋だった。
- アフリカ地域は5.0%減少し112万袋だった。
- メキシコ・中央アメリカ地域は15.4%減少し175万袋だった。2022年3月は207万袋だった。
- ソリユブルコーヒーの2023年3月の輸出量は前年3月の113万袋から6.5%減少し105万袋だった。
- 焙煎豆の輸出量は前年3月の62,689袋から5.9%増加し66,393袋だった。
- 2021/22コーヒー年度の世界のコーヒー生産量は、前年度に対して1.4%減の1億6,850万袋だった。2022/23年度は1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。
- 2021/22コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は4.2%増の1億7,560万袋だった。2022/23コーヒー年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、世界市場の需給関係は2年連続の供給不足が予想され、2022/23年度は730万袋の不足が見込まれる。

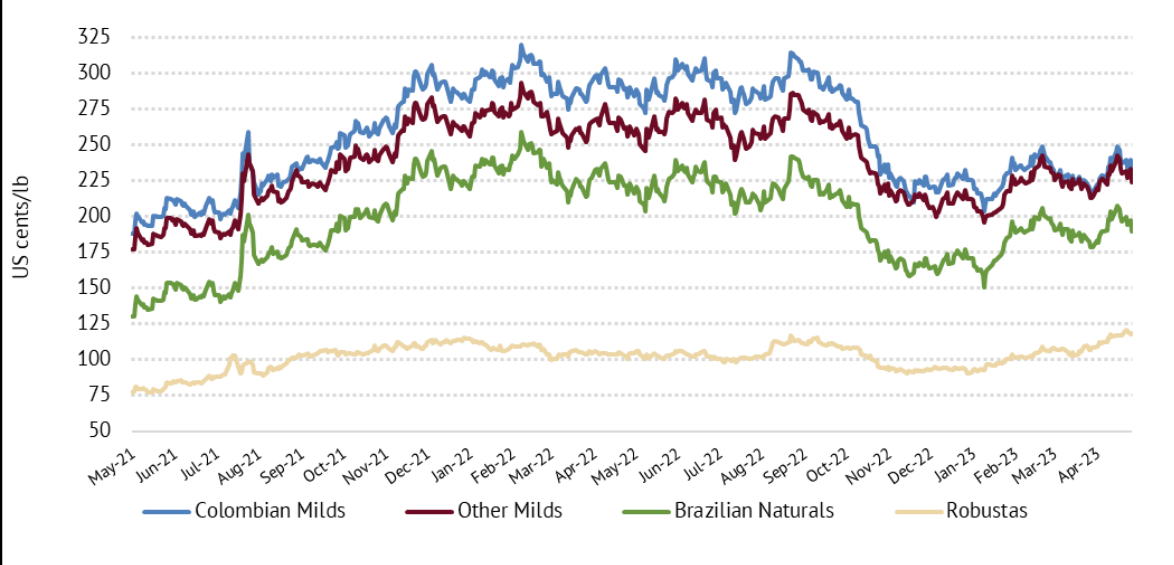
グリーンコーヒー 価格

ICO複合指標価格(I-CIP)は2023年3月から4月にかけて5.0%上昇し、4月の月次平均価格は178.57セント (USセント/ポンド、以下同様)、中央値は179.51セントだった。2022年9月の199.63セント以来の高値である。4月の価格レンジは168.14~187.29セントだった。2022年の終盤の数か月間、コーヒー価格は上昇傾向にあり、I-CIPは2022年11月の156.66セントから2023年4月の178.57セントまで上昇した。大まかに言えば、2021/22コーヒー年度の世界コーヒー市場における需給は供給不足であり、ファンダメンタルズが上昇トレンドを支えたと言えよう (口述の「生産量と消費量」参照)。この状況は2022/23コーヒー年度も繰り返されると予想される。2023年3月の終わりから4月の第3週初めまでの価格上昇は、市場に影響を与える多くのイベントやデータ発表を含めファンダメンタルズの強さが増したことに起因している可能性が高い (後述の「地域別の輸出量」参照)。ただし、4月第3週から見られたI-CIPの下落は米ドルの上昇が主因である。3月23日から4月28日にかけてのブラジルリアル (R\$)の対米ドル為替変動は、3月23日の5.30リアルの安値から4月14日の4.91リアルのピークまで上昇し、その後4月15日から28日にかけて5.03リアルまで再び下落した。



4月は全てのコーヒーグループの指標価格が上昇した。ロブスタは8.7%上昇し115.70セント、またコロンビアマイルドとアザーマイルドはそれぞれ4.3%と3.2%上昇し234.85セントと229.56セントだった。ブラジルナチュラルは4.4%上昇して195.26セント、アラビカの中で最も上昇した。ニューヨーク先物市場は6.3%の上昇、またロンドン先物市場は9.1%上昇してそれぞれ187.30セントおよび105.43セントだった。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices 図 2: ICOグループ指標価格



コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は4月に84.3%拡大して5.30セントとなり、回復力を示した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は3.6%拡大して39.60セント、またコロンビアマイルドとロブスタの価格差は0.3%拡大して119.15セントだった。一方、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は2.9%縮小して34.30セントだった。ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は1.2%縮小して79.56セントだった。

ロンドンとニューヨークの先物市場の間で測定されたアービトラージは4月に2.9%拡大して81.88セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

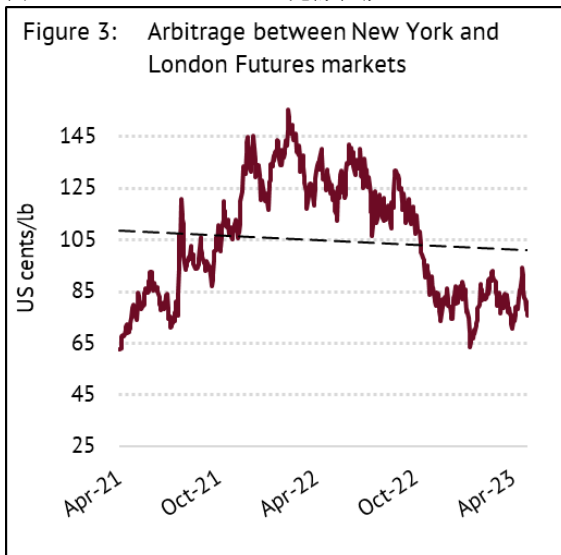
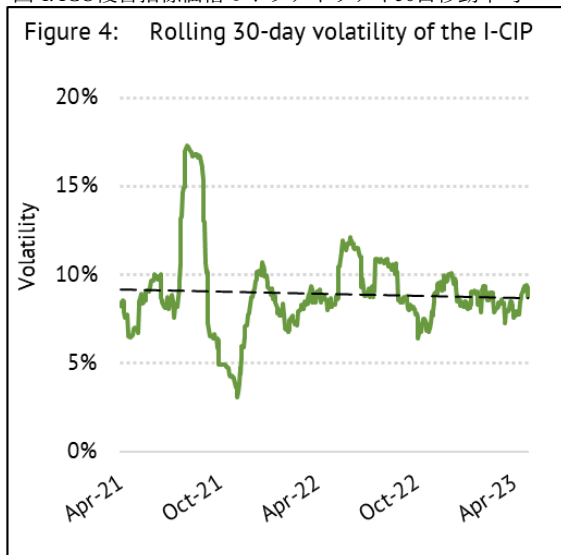
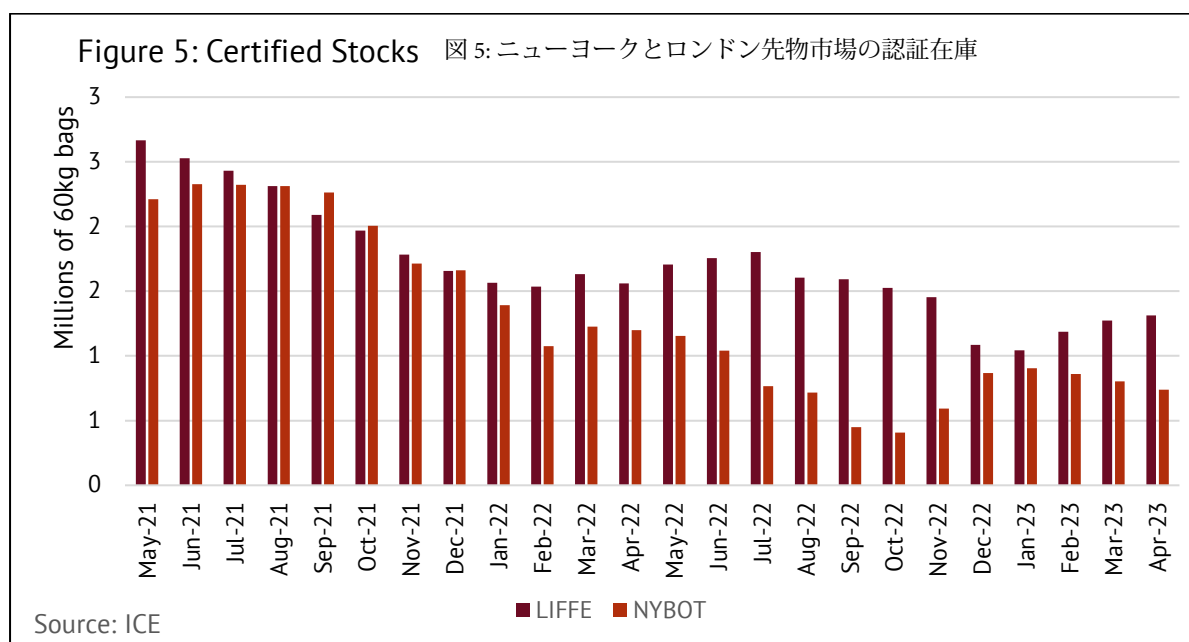


図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ICO複合指標価格のボラティリティは3月から4月にかけて安定的に推移し0.6ポイント上昇の8.7%だった。ボラティリティが最も上昇したのはロブスタで1.4ポイント上昇し7.7%だった。

ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場は、それぞれ0.1ポイントと0.8ポイント上昇して11.1%と7.9%、コロンビアマイルドは0.3ポイント上昇して9.0%、またブラジルナチュラルは0.5ポイント上昇して10.8%だった。



4月のニューヨークのアラビカ認証在庫は前月から7.9%減少し74万袋、一方、ロンドンのロブスタ認証在庫は3.1%増加し131万袋だった。

コーヒーグループ別の輸出量 - グリーンビーンズ

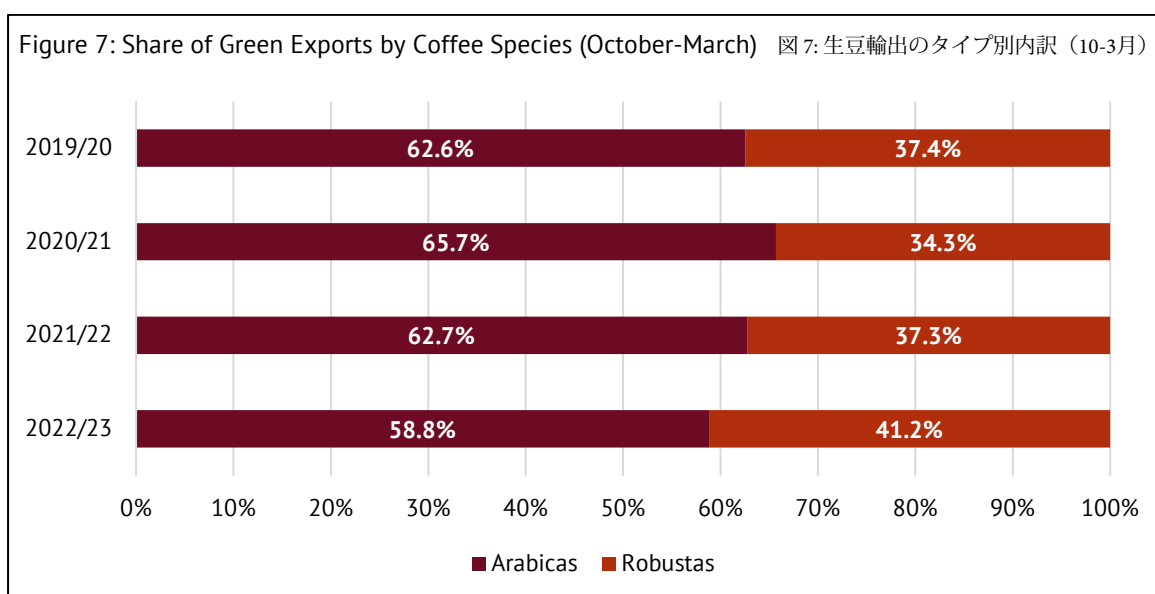
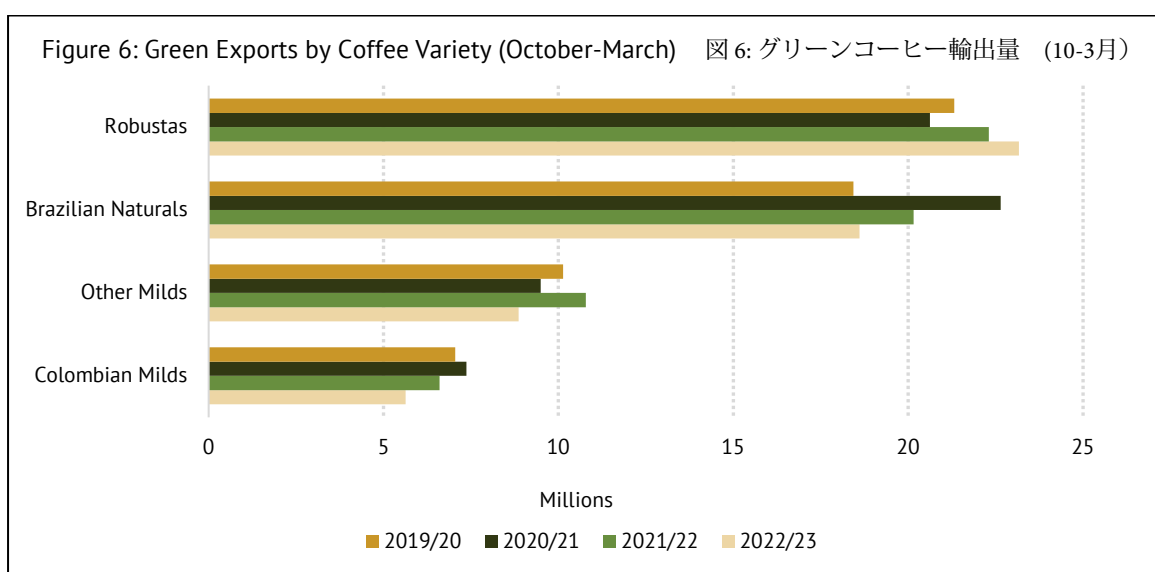
2023年3月の世界の生豆輸出量は1,090万袋で前年同月の1,206万袋から9.6%減少した。全てのコーヒーグループで輸出量は減少した。その結果、生豆の2022/23年度経過6カ月累計輸出量は6.1%減少となり、2月までの経過5か月累計の減少率5.2%に対して減少率は加速した。2022/23コーヒー年度の3月までの累計輸出量は5,626万袋、前年度同時期は5,992万袋だった。

アザーマイルドの3月の輸出量は前年3月の255万袋から17.1%減少して211万袋だった。今年度の開始以降、アザーマイルドの生豆輸出量は6か月連続での減少となる。その結果、2022/23コーヒー年度の上半期累計輸出量は、2021/22年度同時期の1,083万袋に対して18.2%減少して886万袋となった。

ブラジルナチュラルの3月の生豆輸出量は13.5%減少して308万袋だった。2022/23コーヒー年度経過6か月間では1,861万袋で前年度同時期の2,018万袋から7.8%減少した。ブラジルナチュラルの輸出動向は、最大の生産国であり輸出国であるブラジルの生豆輸出量減少が影響しており、ブラジルのブラジルナチュラル輸出量は2022年3月の327万袋から2023年3月には278万袋に減少している (-14.8%)。

コロンビアマイルドの3月の輸出量は前年3月の117万袋から17.4%減少して96万袋だった。主な生産国であるコロンビアの減少によるもので生豆輸出量の減少は19.2%に達した。コロンビアマイルドは過去9か月連続の減少が続き、2022年10月から2023年3月までの累計輸出量は563万袋で前年度同時期に対して14.7%減少している。

ロブスタの3月の生豆輸出量は前年3月の478万袋から0.8%減少して474万袋だった。2022/23コーヒー年度前半期の6カ月累計輸出量は2,317万袋で、前年度同時期は2,231万袋だった。



地域別の輸出量 - 全形態合計

南アメリカ地域の3月の輸出量は17.3%減の413万袋だった。地域の主要生産国であるブラジル、コロンビア、ペルーの3カ国合計輸出量が17.9%減少したことが影響している。ブラジルとコロンビアの3月輸出量はそれぞれ14.3%と19.2%減少して310万袋と92万袋だった。ブラジルは4か月連続、コロンビアは9か月連続の輸出量減少となる。ブラジルコーヒー輸出評議会（Cecafé）によれば、2020/21年度と2021/22年度の生産量減少の主因として、隔年結果の影響と収穫量水準そのものが相対的に低調であったことがある。一方、コロンビアは悪天候に起因する輸出供給量の減少と3月生産量が10%減少したことが長引く輸出減少の要因となっている。

ペルーでは輸出の減少率が大幅に加速し続けており、2023年3月の輸出量は76.5%減少した。主要生産地域（Cajamarca, Junín and San Martín）では道路封鎖の発生など社会不安に加え、継続する不安定な気象条件が輸出の低迷を悪化させている。しかし、輸出の極端な減少の主因は前年度の大幅な増加の反動減と言える。2021/22コーヒー年度の輸出量は460万袋で2011/12年度の469万袋に次ぐ同国史上2番目の輸出量だった。また2020/21コーヒー年度に対して2021/22年度は44.8%増加している。さらに、2022年1月から3月までの3か月累計輸出量は前年同時期から245.8%増加して100万袋だった。これは暦年の第1四半期輸出量としては過去最大で、2番目に大きかった2012年の64万袋よりも57.4%多い。これら過去の記録的な数字を考慮すると、2023暦年第1四半期のデータは必然的に「大幅な減少」とならざるを得ない。

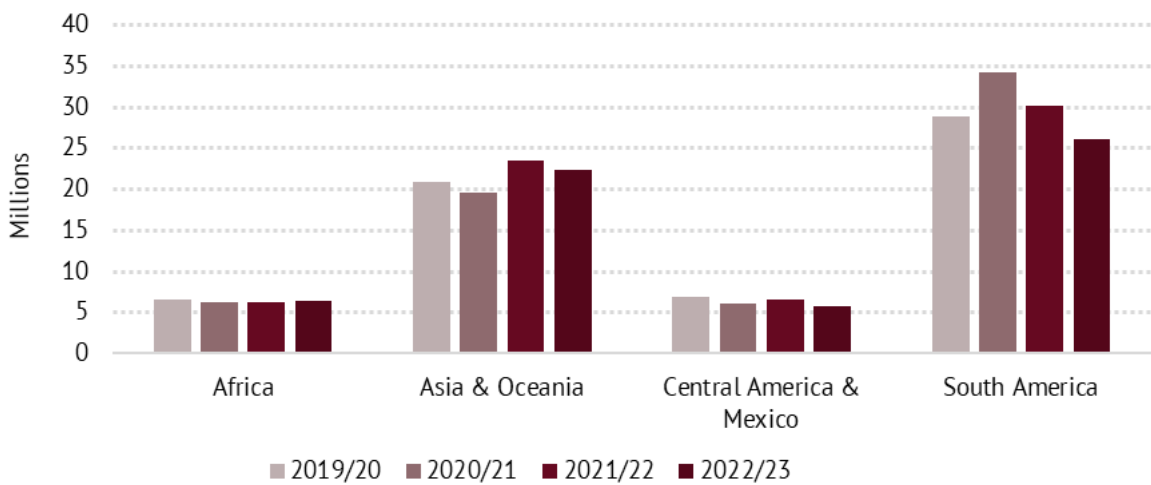
アフリカ地域の3月の輸出量は前年3月の118万袋から5.0%減少して112万袋、2022/23コーヒー年度経過6か月間では前年度同時期の633万袋から0.3%増加して635万袋だった。コートジボワールとケニアがこの地域の輸出減少の主な要因となっている。コートジボワールの3月の輸出量は前年3月の21万袋から41.4%減の12万袋に、ケニアは70,849袋から17.7%減の58,340袋だった。一方、ブルンジ、ルワンダ、ウガンダの輸出量はそれぞれ86.7%、249.2%、2.0%増加して、この地域の輸出低迷を緩和する役割を果たした。

メキシコ・中央アメリカ地域の2023年3月の輸出量は2022年3月の207万袋から15.4%減少して175万袋だった。2022年10月から23年3月までの6か月において輸出量が前年同月対比で増加したのは2023年2月だけであり他の5か月はいずれも減少した。

その結果、2022/23コーヒー年度経過6か月間の輸出量は、前年度同時期の656万袋に対して11.8%減少して578万袋となった。

地域の上位6つの生産国のうち5つの生産国で3月輸出量が減少し、グアテマラの減少が最も大きかった（-44.9%）。その一方、ホンジュラスは輸出量が増加した地域唯一の主要生産国（2.0%）だった。ホンジュラスの輸出量は2022年2月から12月まで11か月連続での減少に続き3月の増加で3か月連続の増加となる。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-March) 図 8: コーヒー輸出量 (地域別/10-3月)



アジア・オセアニア地域の3月の輸出量は0.2%増加して503万袋、2022/23コーヒー年度の経過6か月間では2.5%増加して2,405万袋だった。

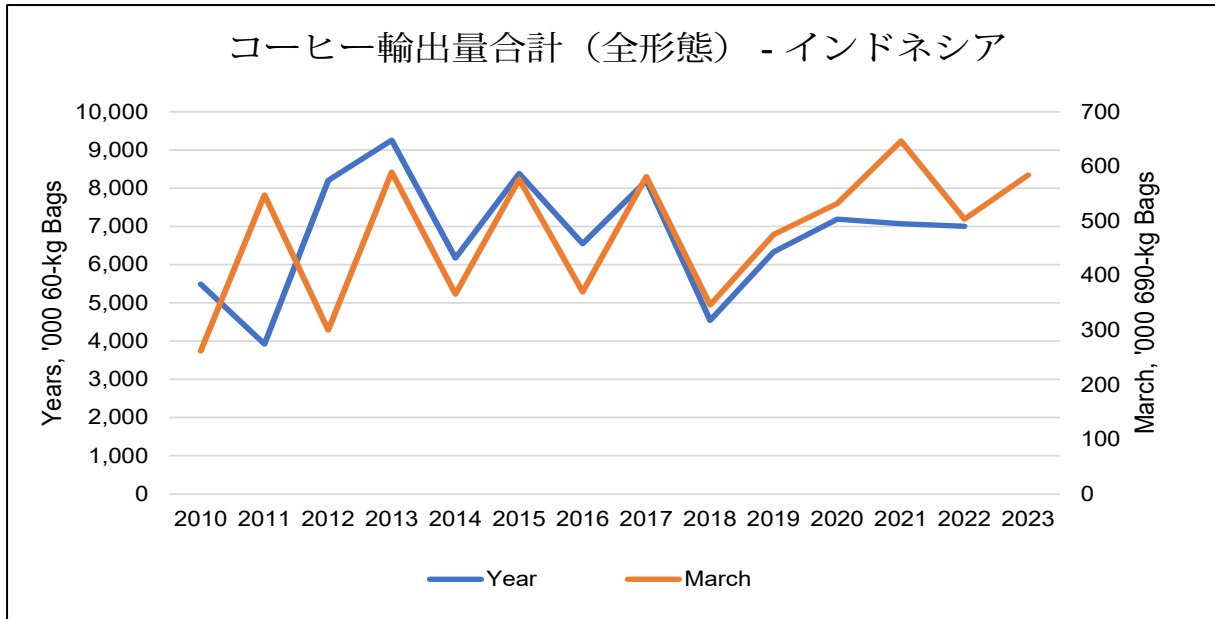
地域の輸出増加の原動力はインドネシアで、3月輸出量は2022年3月の50万袋から16.0%増の58万袋となり、インドとベトナムの減少1.6%と1.1%の落ち込みを埋め合わせた。インドネシアの輸出量増加は通常とは逆の輸出環境にも拘わらず起きている。具体的には、

2022/23コーヒー年度に関するICOの最新の見通しでは、インドネシアの生産量の伸びは消費量よりも低い（1.1%対5.1%）と予測されており、その結果、輸出に利用できる供給量の減少が見込まれる中での輸出増加である。さらに、今年初めにインドネシアコーヒー輸出産業協会は、2023年の年初4か月に列島の大部分で激しい降雨が見られる中、コーヒー生産地域全体でも過度の雨量により生産量は20%減少すると予測していた。

3月輸出量の2桁の増加は主に、インドネシアのコーヒー輸出に見られるオン・オフの強い季節性によって説明されており、これは年間データと月次データの両方で明らかである

（グラフA参照）。2023年3月の16.0%増加は、インドネシアのコーヒー産業の現状や世界のコーヒー需要を反映したものというよりも、2022年3月を反映したものと言えよう。

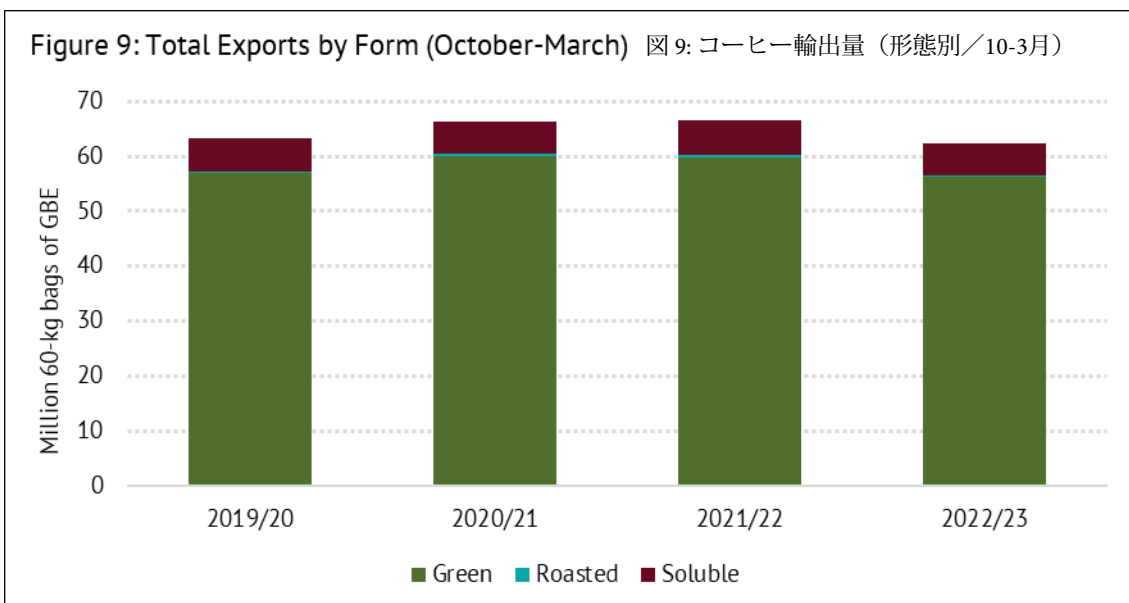
グラフA：各年3月の単月および累計コーヒー輸出量（全形態）



コーヒー形態別の輸出量

ソリュブルコーヒーの2023年3月の輸出量は前年3月の113万袋から6.5%減少し105万袋、2022/23コーヒー年度の経過6か月間では、前年度同時期の622万袋に対して8.8%減少し567万袋だった。2023年3月時点のコーヒー輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェアは10.1%（12か月移動平均で測定）、また、ブラジルはソリュブルコーヒーの最大の輸出国で、3月輸出量は32万袋だった。

焙煎豆の2022年3月の輸出量は前年3月の62,689袋から5.9%増加し66,393袋、また2022/23コーヒー年度の2023年3月までの累計は 358,640袋で前年度同時期は399,479袋だった。



生産量と消費量

2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量に関する見通しについて変更は無い。

2021/22コーヒー年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。アラビカの2022/23コーヒー年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加して9,860万袋と予想され、表年の隔年結果が好影響を与えることが見込まれる。生産量の循環的な変動を反映して、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23年度は57.5%に増加すると予想される。南アメリカ地域の生産量は2021/22コーヒー年度に7.6%減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23コーヒー年度は隔年結果の影響もあり回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22コーヒー年度の6.0%増から2022/23コーヒー年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は730万袋の不足が見込まれる。

上記見通しは、国際コーヒー機関(ICO)の事務局統計セクションの最新の出版物であるCRO(Coffee Report and Outlook)からの抜粋である。CROは、最近の世界のコーヒー業界を動かした要因についての洞察を提供し、近い将来に業界を牽引する可能性のある事象を描き出すものである。

CROは、ICOのWebサイト (www.icocoffee.org) からダウンロードできます。CROの詳細については、stats@ico.org の統計セクションにお問い合わせください。

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Apr-22	198.37	292.64	265.40	226.11	103.96	225.37	95.07
May-22	193.71	286.44	260.42	217.84	103.10	218.61	94.31
Jun-22	202.46	301.57	273.69	230.40	103.81	229.38	94.48
Jul-22	190.82	286.07	255.91	214.80	100.44	210.84	89.60
Aug-22	200.11	295.66	268.43	221.91	109.65	218.53	98.75
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
% change between Mar-23 and Apr-23							
	5.0%	4.3%	3.2%	4.4%	8.7%	6.3%	9.1%
Volatility (%)							
Mar-23	8.1%	8.7%	8.8%	10.3%	6.3%	11.0%	7.1%
Apr-23	8.7%	9.0%	9.2%	10.8%	7.7%	11.1%	7.9%
Variation between Mar-23 and Apr-23							
	0.6	0.3	0.4	0.5	1.4	0.1	0.8

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds	Colombian Milds	Colombian Milds	Other Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	New York*
	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	Brazilian Naturals	Robustas	Robustas	London*
May-22	26.02	68.60	183.34	42.57	157.32	114.75	124.30
Jun-22	27.88	71.18	197.76	43.29	169.88	126.59	134.90
Jul-22	30.16	71.27	185.63	41.10	155.46	114.36	121.24
Aug-22	27.23	73.75	186.01	46.52	158.78	112.26	119.79
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
% change between Mar-23 and Apr-23							
	84.3%	3.6%	0.3%	-2.9%	-1.7%	-1.2%	2.9%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
PRODUCTION	167,568	169,884	168,387	170,868	168,485	171,268	1.7%
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
CONSUMPTION	165,637	170,876	167,593	168,569	175,605	178,534	1.7%
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
BALANCE	1,932	-992	794	2,298	-7,120	-7,266	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Mar-22	Mar-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
TOTAL	13,253	12,023	-9.3%	66,534	62,295	-6.4%
Arabicas	7,863	6,753	-14.1%	40,995	36,330	-11.4%
Colombian Milds	1,281	1,056	-17.5%	7,175	6,204	-13.5%
Other Milds	2,755	2,374	-13.8%	12,137	10,224	-15.8%
Brazilian Naturals	3,826	3,322	-13.2%	21,683	19,903	-8.2%
Robustas	5,390	5,270	-2.2%	25,539	25,965	1.7%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	May-22	Jun-22	Jul-22	Aug-22	Sep-22	Oct-22	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23
New York	1.16	1.04	0.77	0.72	0.45	0.41	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74
London	1.71	1.76	1.80	1.61	1.59	1.52	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31

In million 60-kg bags